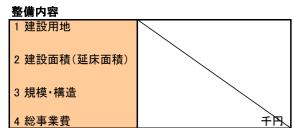
事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

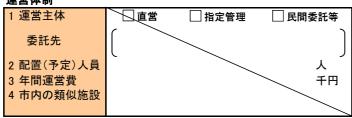
	コード		名	称		区分	コード		名	称			
事業名	120_2	拟古門 态	汝惟准重業/閱	連都市との交流)		会計	01	一般会計					
尹未石	120-3		加雅连尹未(因	建御川との文派)		款	02	総務費					
基本	54	抽械咨询:	を活かして、他は		項	01	総務管理費						
施策	54	地域貝娜	を泊かして、他に	心域と文派する		目	07	文化振興費					
施策	1	地域間交	· ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			細目	103	都市間交流推	5間交流推進事業				
旭東		地域间又	に流の推進			細々目	01	都市間交流推	進事業				
基本	計画該	当頁		186	行	革大綱	の重点	点事項番号		7			
担当部課	1 		040	0200	1	平価者		森本 勝美	連絡先	22 -	9624		
파크마砞	名称		企画振興部	興部文化国際課		氏 名	l	林小 游天	连桁九	(内線)	2120		

古类不乱声 古南

	事業	事業の計画・内容														
		対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)													
			伊賀市の文化を発信し、相互の情報交換ができる。													
ļ		(※対象件数)														
ı	1-45	心法令・要綱等 奥の細道サミット規約、東大寺建立にかかわった市	町村実行委員会会則													
ŀ		始年度 平成 年度 7年度 平成 年度														
	事業内容	「奥の細道」にかほ象潟サミット総会に参加した。 奈良市で開催された東大寺サミット・事務担当者会議に出席した。	全国伝統地名(旧国名)市町村連絡会議は平成19年9月末をもって退会した。 東大寺サミットについては、隔年の開催となっている。次回は、22年度の予定。(開催地は未定)「奥の細道」サミットは21年度は、福井県敦賀市で開催、22年度は宮城県の松島で開催の予定。													



運営体制



事業種別 継続 単独 事業類型 I ソフト事業

事業実績

活動指標	単位	実績	責値	目標値				
/	中位	H19	H20	H21	H22			
奥の細道サミット参加		目標 1	目標 1	1	1			
奥の福道 リミット参加	IJ	実績 1	実績 1	· ·				
東大寺サミット参加		目標 0	目標 1	0	1			
果人守りミツト参加	쁘	実績 0	実績 1	U				
全国伝統地名(旧国名)市町村連絡会議総会参加		目標 1	目標 -	_				
主国伝机地石(旧国石/川町村建裕云磯秘云参加	凹	実績 0	実績 -		_			

2次評価対象分

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実統	目標値			
争未の成木を別る相係	旧標設足の考えり	1 平位		H19	H20		H21	H22
奥の細道サミット参加	サミットに参加することにより、芭蕉生誕の	回	目標	1	目標	1	1	1
英の神道リミグト参加	地伊賀市を広くPRすることができる。	쁘	実績	1	実績	1	'	
			目標		目標			
			実績		実績			

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	松尾芭蕉、東大寺等を活用した関係地域と交流することにより、情報交換ができる。
有効性	2	情報交換ができるが、加盟市町村が全国規模であるため会議等の参加の経費がかかる。また、合併等により会員数が 減少している。
達成度	4	計画どおり達成できた。
効率性	3	負担金については、開催地により変動があるが、各団体で協議している。市単独で決定できないが、それぞれの団体でコスト削減に努めている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
С		構成地域の広域連携を進め、観光振興と市民の交流につながる事業として継続するが、組織の見直し時に観光振興としてとらえるか検討する。

	年度		平成19				平成20				平成2						計画内容				計画内容		4年度計	_ · ·
	'~		事業内容	数量	単位	金額	事 業 内 容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事 業 内 容	数量	単位 金額		事 業 内 容	数量	単位 金額	事業内容	数量 単位	☆ 金額
況	委託工事		旅費 負担金			40	旅費 負担金 その他			190	旅費 負担金 その他			40	旅費 負担金 その他		1	60 90	旅費 負担金 その他		4	i) 5 旅費 0 負担金 2 その他		(千円) 245 190 2
	(%)		事業費計(A)		Σ	77	事業費計(A)		Σ	377	事業費計(A)		Σ	113	事業費計(A)		Σ 3	370	事業費計(A)		Σ 38	7 事業費計(A)	Σ	437
		事業投入人員	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人 7	20	人件費(B)	0.1	人 72	0 人件費(B)	0.1	720
	フ	'ルコスト (A)+(B)				797				1,097			•	833			1,0	90			1,10	7		1,157

事業費(人件費除く)の財源内訳

	X () (X M) () () () () () () () () ()						
(A)	事 業 費	77	377	113	370	387	437
	国庫支出金						
A	県 支 出 金						
の	地方債						
海	受益者負担						
内	その他						
訳	一般財源	77	377	113	370	387	437
ш, с	計	77	377	113	370	387	437
供	その他特定財源の名称・補助基本額・						
一	<u>率</u>						
75	平 地方債の区分と充当率等						